

松江市 佐陀神能



佐陀神能は、神事の式次第から発達した採物舞の「七座神事」、神法楽としての「式三番」、「日本書紀」の神話や神様の功績などを題材とした「神能」の三部構成となっており、特に神能は佐太神社の神官が、約四百年前の慶長年間（京より能を習い覚えて帰りその方式を取り入れ、従来の神楽を格調高いものに創り上げた）と伝えられています。この形式が確立され、能方式を取り入れた独特の形をもって伝承されている神楽という点では他に類するものが少なく、出雲国二ノ宮である佐太神社の勢力も相まって、出雲一円及び近隣諸国の神楽に影響を与えています。江戸時代を通して、佐陀神能は佐太神社の触下三郡半（島根、秋鹿、楯縫と意宇郡西部）の神社の神職、巫女の役目として行われてきましたが、現在は神能と松江市内の有志による佐陀神能保存会によって伝承されています。九月二十四日・二十五日の佐太神社の御座替祭に舞うほか、近隣の神社の秋のお祭りなどで奉納されています。昭和五十一年国の重要無形民俗文化財に指定され、平成二十三年にユネスコの無形文化遺産に登録されています。

宮崎県 高千穂神楽



高千穂に伝承されており、天照大神が天岩戸にお隠れになった折、天鈿女命が岩戸の前で調子面白く舞ったのが始まりとされており、古来私共の先祖は、永い間、高千穂宮を中心に、この神楽を伝承して今日に及んでいます。昭和五十三年に国の重要無形民俗文化財の指定を受け、昭和五十五年には、ヨーロッパで開催された「国際伝統芸能祭」に招待を受けるなど、全国各地で多くの公演を行っております。その伝承は遠く、神楽研究家の間では、平安末期から鎌倉時代にかけて成立したと言われております。高千穂の夜神楽は、毎年十一月中旬から翌年二月上旬にかけて町内各地区にて三十三番の神楽を夜を徹して奉納し、秋の実りに対する感謝と翌年の豊稔を祈願するものであります。また、当協会にて公開を行っております高千穂神楽は、昭和四十六年から五十年間にわたり代表的な舞を每晚奉納していることから、平成二十三年には、「高千穂宮殿下記念地域伝統芸能賞」を、平成二十九年にはサントリー文化財団より「サントリー地域文化賞」という大変名誉ある賞をそれぞれ受賞しております。

第三回 神座

佐太神社 御造営第二期工事 舞殿改修工事完成
佐陀神能ユネスコ無形文化遺産登録十周年記念

「神々への舞」 各地に傳わる 御神体出現の舞

隠岐の島 久見神楽



隠岐の神楽は大別すると島前の島前神楽（どうぜんかぐら）、島後の周吉神楽（すきかぐら）、穂地神楽（おちかぐら）があります。島後久見神楽は穂地神楽に含まれ、毎年伊勢命神社の祭礼で、夜半から翌朝の夜明けまで同神社の神楽殿で奉納されます。隠岐島には古来、特定の神社に属さず、祈禱のための神楽を専門とする社家と呼ばれる神楽師があり、島後には十三家の社家筋が神楽を伝えましたが、明治の神祇行政の改革でこれらが廃止されました。明治十三年から久見部落の有志が活動を始め、明治二十二年に島後の西端、都方村油井（現隠岐の島町油井）の社家であった和田家から伝受したのが始まりです。佐陀神能の影響の下に独特の発展を遂げた島後神楽の古態を残し、現在ではその代表的なものとしています。昭和三十七年（一九六二年）に島根県の無形民俗文化財とされ、昭和五十三年（一九七八年）一月三十一日に国の選択無形民俗文化財となっています。

出雲市 大土地神楽



大土地神楽は、古くから大土地荒神社の神主によって舞われていましたが、寛政十年（一七九八年）の「禱家順番帳」等の記録によると、宝暦年間（一七六〇年前後）には既に素人神楽が舞われ、その頃から子どもも舞を奉納していることが確認でき、三百年以上途絶えることなく民衆によって受け継がれています。平成十七年二月には国の「重要無形民俗文化財」に指定されております。その舞い振りや奏楽は、毎年十月の大土地荒神社祭で、昔ながらの形で受け継がれており、出雲大社の門前町として、盛んだった芝居興行による影響もあってか、とくに観衆を意識し、楽しませる所作・演出が随所に見受けられます。また能舞の要素が多分に含まれた舞いも残っており、腰に「まくら」を背負った上に衣装を着けるといった、独特な容姿となっています。現在の活動としては、大土地荒神社例祭はもとより、出雲大社例祭への奉納神楽、県内外での公演もしています。また、国譲り神話の舞台で「稲佐の浜夕刻篝火舞」を自主開催する等、神楽の素晴らしさを一人でも多くの方に知っていただくよう公演活動も行っております。

第三回

神座

「神々への舞」

カムクラ

奉祝 佐太神社式年御造営第二期工事舞殿改修工事完成
佐陀神能ユネスコ無形文化遺産登録十周年記念

各地に傳わる 御神体出現の舞



隠岐の島 久見神楽



出雲市 大土地神楽



宮崎県 高千穂の夜神楽

令和四年 **入場無料** ※ 写真撮影はご遠慮ください
10/2(日) 9:30~17:00

会場 佐太神社 舞殿 島根県松江市鹿島町佐陀宮内73

主催 「佐陀神能」ユネスコ無形文化遺産登録記念事業実行委員会

後援 島根県教育委員会/松江市/松江市文化協会/松江市教育委員会

公益社団法人 全日本郷土芸能協会

協力 社☆ガール(神社ガールズ研究会) 島根経済文化振興会 助成事業

お問い合わせ先 (一社) 松江観光協会 ☎ (0852)27-5843 <https://www.kankou-matsue.jp/>

佐太神社々務所 ☎ (0852)82-0668 <http://www.sadajinja.jp/>

新型コロナウイルス感染症の影響により、中止または延期、内容変更の場合があります。会場では、入場制限や会場整理を行うことがあります。また、検温や記名にご協力ください。発熱や体調不良時の入場はご遠慮ください。

松江市 佐陀神能
文化庁
令和四年度文化庁伝統文化親子教室事業
「子ども佐陀神能教室」成果発表
写真加賀の潜戸(春日美知)